

砂防堰堤上より見た
猫谷源頭部の谷壁変化



● 朝明の山の変遷 ●

山は、ハゲ山と森林では雲泥の差があり、ハゲ山は森林が無い(水源涵養機能が無い)ため少しの雨でも洪水や土砂流出が発生。この機能を高め、地表の土を止めるため、緑化を行う…それが「治山」。朝明のハゲ山も森林が回復しつつある。
※三重郡菟野町

「森の番人(もりのぼんにん)」

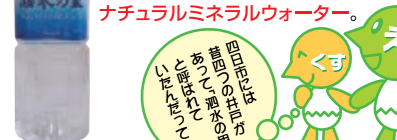
三重県奥伊勢の雨(年間4,000mm)が大自然の樹海に浸透。自然ろ過され適度なミネラル分を含んだ日本一きれいな宮川の水ナチュラルウォーター。



平成14~16年
3年連続水質日本一!
(有)森と水を守る会
<http://www.morinobannin.com/>

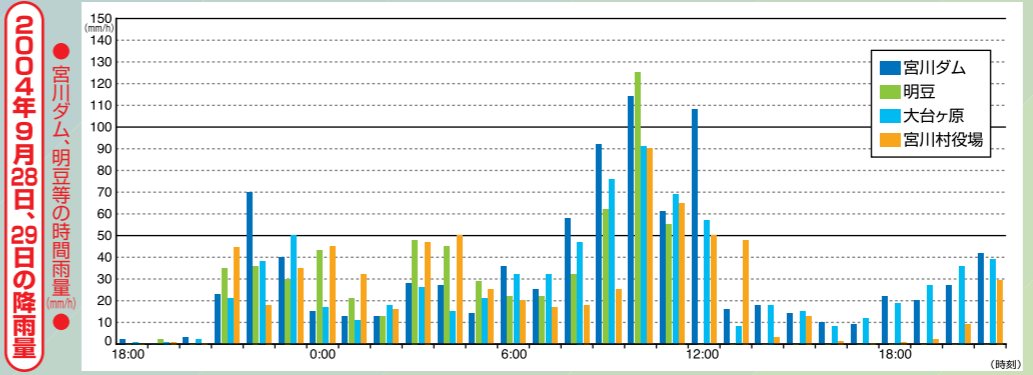
「酒水の里(しすいのさと)」

四日市市の水道水は、約7割を豊かな鈴鹿山系からの伏流水(地下水)でまかかっており、「酒水の里」は、その地下水を、加熱殺菌、ろ過処理された天然のミネラルそのままのナチュラルミネラルウォーター。



四日市市上下水道局
<http://www.city.yokkaichi.mie.jp/water/>

宮川村を襲った災害



宮川村の主な土砂災害箇所



ました。あの時のこと皆さん覚えていますか。
この日、三重県中南部は宮川村をはじめ豪雨でさんざんな被害に遭いました。この災害は1959年の伊勢湾台風以来の災害でした。

● 恐ろしい土砂災害・・・宮川村

緑の森林の山であれば、災害は無いのでしょうか。いえ、激しい豪雨の場合やはり災害が発生します。戦後はハゲ山が多く、台風が来ると洪水災害が発生していました。現在は、治山・治水が整い、洪水災害で死者が発生することは少なくなりました。ところが、土砂災害は相変わらず発生し、増える傾向にあります。日本中どこでも限度を超えた激しい豪雨があれば、森林地帯でも災害は発生するのです。宮川村がその例です。

戦後の植林や治山によって三重県の山々には立派な森林が生育しましたが、宮川村では、斜面崩壊(土砂崩れ)・土石流が発生したため、家屋がつぶれ、人命が奪われました。昨年の「9.29災害」で7名の死者・行方不明者が発生し、悲惨な災害となりました。この災害は土砂災害でした。洪水で家が水浸しになることはありますが、水はいつかは引いて行きます。しかし、流出した土砂は貯まる(堆積する)一方で引いていくことはありません。土砂で埋まってしまうのです。これが、土砂災害の恐ろしいところです。

● 土砂災害を防ぐ

山には森林があり、樹林が形成されています。土砂災害の被害が生じないように、この樹林内に流下土砂を堆積させることができれば、素晴らしいですね。山の斜面から暴走する崩壊土砂を防げれば、斜面下の家も人も無事です!

私の研究室では、土砂災害発生の実態と発生原因を解析し、記録・保存しています。地球温暖化などによる異常気象により、予想外の災害が発生する恐れがあります。二度と同様の災害を生じさせないためにも、たとえ崩壊が発生したとしても最小限の被害にとどめるためにも、この研究は重要な意義があります。先人が築いた自然環境を守り育てることがとても大切なことだと思います。

三重大学生物資源学部・教授
Hayashi, Setsuo 林 拙郎

[URL] <http://www.bio.mie-u.ac.jp/kanky/shinrin/lab3/index.html>

地域集
SPECIAL EDITION
と歩む

宮川村災害の教訓

災害は忘れたころにやってくる

避難も「気合いだ!」一瞬のためらいが命をおとす

